学校番号	404

令和5年度　　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「　美術1　」（ 光村図書 ）						
副教材等	「　　」（　　出版）						

１．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更見方が広がったり深まったりします。

２．学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	油彩	・F8サイズの油彩作品を制作する。 ・油絵具の扱い、画面構成、対象の捉え方を学び、静物画を描く。 ・合評会	○	○	○	○	a：主体的・意欲的に課題に取り組んでいるか b：感性や想像力を働かせて構想を練っているか c：主題に合った表現方法を工夫しているか d：作品のよさや美しさを創造的に味わっているか。	ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品 合評会
2・3	卒業制作	・B2パネルにアクリル画を描く。 ・パネルの水張り技術を学ぶ。作品のテーマは自由とし、主体的・創造的に作品を制作する。	○	○	○	○	a：主体的・意欲的に課題に取り組んでいるか b：感性や想像力を働かせて構想を練っているか c：主題に合った表現方法を工夫しているか d：作品のよさや美しさを創造的に味わっているか。	ワークシート アイディアスケッチ 制作途中の作品 作品 合評会

※ 表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　b：発想や構想の能力

c：創造的な技能　d：鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。